



クラブ南阿蘇新企画

『南阿蘇ふるさと体験塾 ただのいなかじゃーなかよ。』活動報告〜〜〜！

南阿蘇村の子どもたちに、ふるさとの身近な自然とふれあいながら、南阿蘇の魅力を活かした体験学習の場を企画しました。自分たちで村を案内できるくらい詳しく知ってもらおう〜と村内在住のジオガイドの皆さんに案内していただき、第一回南阿蘇ふるさと体験塾を3日にわたり開催しました。

1日目【8月30日（日）】8:00〜16:30

テーマ：〜阿蘇火山の成り立ちと人々の関わりを知る。草原の動植物を観察する〜

きもちの良い晴天の朝。村内の小学生8人が集合して、出発！火山がテーマの今日、向かう先は、阿蘇山上。

火山博物館では火山の成り立ちを知る展示物を見学し、カルデラ実験を体験しました。

草千里では、季節の植物ビンゴゲームに挑戦し、水を求めて集まる動物たちの足跡を調査しました。

馬の糞の中から、絶滅危惧種に指定されている糞虫、『ゴホンダイコクコガネ』を見つけ、糞虫が糞を分解して土に食べてくれる貴重な存在ということも学びました。



2日目【9月26日（土）】8:00〜16:30

テーマ：〜カルデラ地形や南阿蘇の山々を知る。熊本地震を知り、防災の意識を高める〜

前回より仲間がひとり増えて9人が参加。まず向かったのはグリーンロード展望所。自分たちの住む村を眺めます。阿蘇の山々や田んぼ。あらためて南阿蘇の美しさを味わっていました。この季節に実る、あけびを口にし、初めての味に大笑いしました。恐ヶ淵や羅漢山を散策し、次に向かったのはあそ望の郷。観光の場であり、避難所としての役割もあります。敷地内にある縄文時代からの柏木谷遺跡なども説明を聞きながら廻りました。

昼食を食べ、午後は熊本地震震災ミュージアム（旧東海大学阿蘇キャンパス）へ。大きく地割れした断層や、黒川被災ウォーク、阿蘇大橋崩落現場や新阿蘇大橋（仮称）の建設現場を訪れました。地震の経験や教訓を後世につなぎ復興へと進む「今」を仲間とともに味わいました。そのあとは、高野台防災公園に行き、普段はベンチなのですが、有事の時は、トイレやかまどとして使えるかまどベンチの設置を体験しました。



3日目【11月7日（土）】8:00〜16:30

テーマ：〜豊かな湧水に恵まれて暮らせる喜びと、地元で親しまれる南阿蘇鉄道〜

竹崎水源や白川水源、保木下井出や片山松翁の碑をみながら、水の循環や水と農業の関係を学び、中松駅では約5000年前の溶岩が流れて固まった場所や、空襲の跡などを体験しました。

午後はトロッコ列車に乗り、南阿蘇ビジターセンターで、草原の草花などについて教わり、南阿蘇のよかとこ自慢会をして、今年度の体験塾を終えました。火山やオオルリシジミ、水源などをテーマにした参加賞のオリジナル缶バッジもゲット☆



（ふるさと体験塾に参加した児童からの声）

- ・日本一広い草原や、1,500カ所もの水源。希少なハナシノブという植物を知った（両井小6年）
- ・野焼きで草原を守っていることを初めて知った。カルデラに9万年の歴史があることを知った（中松小6年）
- ・トロッコ列車から見える景色がきれいだった。白川水源の水がおいしかった（南西小5年）
- ・阿蘇のことはなんでも知っていると聞いていたけど、新しいことをたくさん知れました（白水小5年）
- ・熊本地震被災ウォークで地震の被害の大きさが分かった。南阿蘇の素晴らしさに驚いた（久木野小6年）

来年度も開催する予定ですので、ぜひご参加ください。